凍結したときの対応方法

給湯機周囲の外気温が0℃以下になると配管が凍結します。 配管が凍結し、以下のような症状が出た場合は、処置方法に従って処置してください。

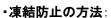
ヒートポンプ。ユニット

(1)蛇口(混合水栓)からお湯が出ない (台所、洗面、浴室)

湯・水が出ない 原因: 貯湯ユニットに接続されている 給水配管や給湯配管などが 凍結していることが考えられます。(図1)

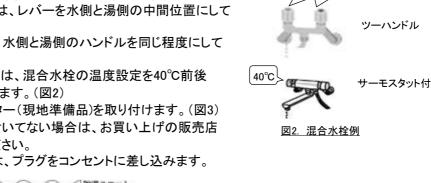
• 処置: ①自然に解凍するのを待つか、配管に お湯(約40~50℃)を掛けて解かして ください。高温のお湯を掛けると配管 が破損する場合がありますので ご注意ください。

> ②お湯が出るようになったら、配管に 掛けたお湯をふき取るようにしてください。



- ①給湯温度を低温に設定し、混合水栓を少し開けて、わずかに水が出る ように開けておきます。(1分間に200cc:コップ1杯分が目安)
 - ・シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして 開けます。(図2)
 - ・ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度にして 開けます。(図2)
 - ・サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後 にして、ハンドルを開けます。(図2)
- ②配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3) 凍結防止ヒーターが取り付いてない場合は、お買い上げの販売店 または工事店にご相談ください。

既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。



給湯配管

貯湯ユニット

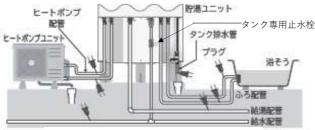


図3. 配管例(凍結防止ヒーター取付け)

※タンク専用止水栓は、工事業者によって取り付け られていますので、取り付け位置や形状はお客 さまごとに異なります。

浴そう

給水配管

シングルレバー

中間位置

ふろ配管

水•湯同量

図1. 配管例

- 確認できない場合は、お買い上げの販売店に お問い合わせください。
- (2)おふろの湯はりが出来ない。蛇口(混合水栓)からお湯は出る。 Er24、Er15などの点検表示が発報する。(型式BHP-FS**RH(1)、BHP-FS**SH、BHP-FS**TH除く)
 - •原因:ふろ配管が凍結していることが考えられます。(図1)
 - ・処置:①自然に解凍するのを待つか、配管にお湯(約40~50°C)を掛けて解かしてください。
 - 高温のお湯を掛けると配管が破損する場合がありますのでご注意ください。②お湯が出るようになったら、配管に掛けたお湯をふき取るようにしてください。
 - ③Er24、Er15が発報した場合は、点検表示を解除してください。(3ページ参照)
 - 凍結防止の方法:
 - ①フルオート機種及びセミオート機種 配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3) 配管主体に凍粕的正と一ター(現地学備品)を取り付けまり。(図) 凍結防止ヒーターが取り付いてない場合は、お買い上げの販売店 または工事店にご相談ください。
 - 既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。
 - ②フルオート機種のみ

浴そうにお湯をふろ循環アダプター上端より約5cm以上残して おきます。自動で凍結防止運転を行います。(図4)

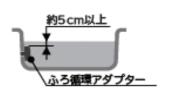


図4. ふろの凍結防止

- (3) お湯が沸き上がっていない。 HE22の点検表示が発報する。(型式BHP-FS**RH(1)、BHP-FS**SH、BHP-FS**TH除()
 - •原因:給水配管が凍結し、その状態でタンクの沸き上げや給湯、おふろの湯はりを行ったため、 貯湯ユニットやヒートポンプユニットの中に空気溜まりができ、湯・水が循環できなくなった ことが考えられます。(図1)
 - 処置:①給水配管の凍結が自然に解凍するのを待つか、配管にお湯(約40~50℃)を 掛けて解かしてください。高温のお湯を掛けると配管が破損する場合がありますので ご注意ください。
 - ②解けたことを確認したら、配管に掛けたお湯をふき取るようにしてください。
 - ③HE22が発報した場合は、点検表示を解除してください。(3ページ参照)

凍結防止の方法:

- ①給湯温度を低温に設定し、混合水栓を少し開けて、わずかに水を出るように開けておきます。(1分間に200cc:コップ1杯分が目安)
 - ・シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。(図2)
 - ・ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度 開けます。(図2)
 - ・サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後にして、ハンドルを開けます。(図2)
- ②配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3) 凍結防止ヒーターが取り付いてない場合は、お買い上げの販売店 または工事店にご相談ください。 既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。

これらの処置を行っても解消されない場合は、お買い上げの販売店または日立家電エコーセンターへ 連絡してください。

なお、凍結により配管や給湯機の破損が認められる場合は、タンク専用止水栓を閉めてください。

凍結により以下の点検表示が発報した場合、解氷を行った後、以下の手順に従って 点検表示を解除してください。 (型式BHP-FS**RH(1)、BHP-FS**SH、BHP-FS**TH除()

■点検表示 Er24 の解除方法

- •原因:ふろ配管が凍結し、配管内の圧力が上昇した。
- •解除方法:

脚(配管)カバーの取外し作業をする場合は、 軍手をはめて作業をしてください。

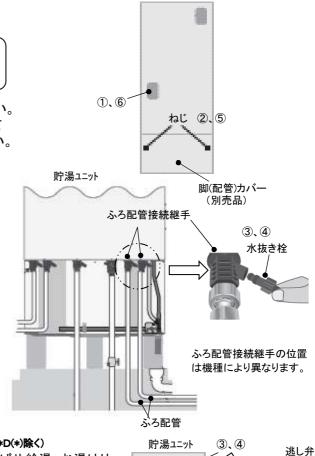
- ①漏電遮断器のスイッチを「OFF」にしてください。
- ②貯湯ユニットに脚(配管)カバーが取り付いている場合、ねじを外しカバーを外してください。
- ③ふろ配管接続継手の水抜き栓を 開いて、湯・水を出してください。
- ④湯・水が出なくなったら元通りに取り付け てください。
- ⑤脚(配管)カバーを元通り取付けてください。
- ⑥漏電遮断器のスイッチを「ON」にして ください。

■点検表示 Er15 の解除方法

・原因:ふろ配管が凍結して、おふろに湯が出せなくなった。

•解除方法:

リモコンの「決定」ボタンを押した後、「メニュー」ボタンを3秒以上長押ししてください。本操作で解除できない場合は元電源をOFFして解除してください。



貯湯ユニット

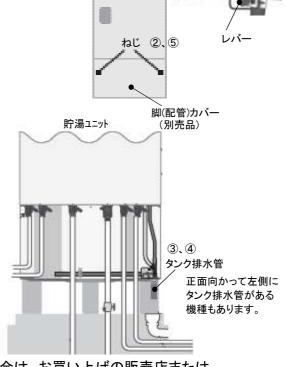
■点検表示 HE22 の解除方法 (型式BHP-FS(V)***D(*)除く)

•原因:給水配管が凍結し、その状態でタンクの沸き上げや給湯、お湯はりを行ったため、貯湯ユニットやヒートポンプユニットの中に空気溜まりができ、湯・水が循環できなくなった。

•解除方法:

脚(配管)カバーの取外し作業をする場合は、 軍手をはめて作業をしてください。

- ①リモコンの「決定」ボタンを押した後、「メニュー」 ボタンを3秒以上長押し、点検表示を解除して ください。本操作で解除できない場合は 元電源をOFFして解除してください。
- ②貯湯ユニットに脚(配管)カバーが取り付いている場合、ねじを外しカバーを外してください。
- ③逃し弁のレバーを上げ、タンク排水管から 連続してお湯が出ることを確認してください。 高温のお湯が出ますので、タンク排水管や タンク排水栓には触れないでください。
- ④逃し弁のレバーを下げ、タンク排水管から お湯が出ないことを確認してください。
- ⑤脚(配管)カバーを元通り取り付けてください。
- ⑥リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して、 タンクの沸き上げを行ってください。 お湯ができるまで、2時間程度お待ちください。



ΣY

上げる

下げる

これらの処置を行っても点検表示を解除できない場合は、お買い上げの販売店または日立家電エコーセンターへ連絡してください。

なお、凍結により配管や給湯機の破損が認められる場合は、タンク専用止水栓を閉めてください。